

# 2022年度 静岡大学 特別教育プログラム

英語特別教育プログラム

グローバル・アジア特別教育プログラム

静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム

地域づくり特別教育プログラム

防災マイスター

国際日本学副専攻プログラム

実践データサイエンス力育成プログラム

# 特別教育プログラムとは

現代社会では、グローバル化や人口減少、産業構造の変化等と連動した社会変動が起きており、その社会変動のなかで浮かび上がる課題と向き合って私たちは生きていきます。変動する社会の課題に対応するためには、皆さんが所属する学部教育の専門分野の知識やスキルだけでは十分でないかもしれません。

そこで、静岡大学では、現代社会の様々な課題に対応可能な知識・スキルを学習したり、グローバル化に対応したスキルの獲得を目指したりする「特別教育プログラム」を提供します。

特別教育プログラムは、静岡大学の教養教育、専門教育で開講されている複数の授業科目を、学習テーマやスキルアップの観点から関係性を整理し、科目をパッケージ化したものです。

履修に際しては、それぞれのプログラムの学習目標をよく読み、必要性を理解した上で主体的に履修してください。

特別教育プログラムを履修することによって、それぞれの興味関心に合わせた主体的な学びが広がり深まることを期待します。

全学教育基盤機構長

## 履修可能な特別教育プログラム

- 英語特別教育プログラム
- 静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム
- 防災マイスター
- 実践データサイエンス育成プログラム (詳細は理学部学務係に問い合わせください 054-238-4717)
- グローバル・アジア特別教育プログラム
- 地域づくり特別教育プログラム
- 国際日本学副専攻プログラム

## 申請方法等・各プログラムの詳細



詳しくは、下記のURL (大学教育センターウェブサイト) をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/special/>

## 特別教育プログラムの注意事項

**Q.** 学部の専門科目と特別教育プログラムの科目の時間割が重複していて、修了要件が満たせないことはありますか。

**A.** 国際日本学副専攻プログラムに含まれる人文社会科学部の専門科目以外は、自分の学年を対象として開講される特別教育プログラム科目(許容科目)が専門科目と重複することは原則としてありません。

**Q.** 修了見込みは発行されますか？

**A.** 一定数以上の単位取得など、各プログラムが定めている条件を満たした場合に、修了見込みであることを示す書類を発行します。詳細は、各プログラムの方針にしたがってください。

**Q.** 修了証の発行申請はどのようにすればよいですか？

**A.** 毎年、特定の時期に案内が出されますので、その案内にしたがってください。

**Q.** 途中で続けられなくなった場合でも、不利益は被りませんか？

**A.** 各プログラムを修了しなかった場合(卒業時まで各プログラムの修了要件を満たさなかった場合)でも、不利益を被ることはありません。

**Q.** 卒業に必要な単位数以上の単位を取得することになるでしょうか。

**A.** 場合によっては、卒業に必要な単位数以上の単位を取得することになります。修了要件等をご確認ください。

**Q.** 各プログラムの修了要件を教えてください。

**A.** 次ページ以降の各プログラムの修了要件をご参照ください。加えて、いずれのプログラムに関しても、卒業に必要な単位を取得することが必要です。

## 概要と目的

留学や英語が頻繁に使われる国内外の企業に就職を希望する等、高度な英語力の習得を望む学生のためのプログラムです。

教養英語必修科目を含め、開講されている多くの教養英語選択科目を履修する事で、英語資格試験対策や英語圏への留学準備の対策も目標とします。

所属学部に関係なく履修できます。また英語に興味があり、静岡大学で英語力を向上させたいと考えている学生には最適の内容となっています。

## 履修資格と履修手続き

- 特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。
- 本プログラムを履修する際は、申請が必要です。次ページにある詳細ホームページを確認してください。履修申請が受理された時点より、プログラムの履修開始となります。

### 履修モデル A (一般モデル)

	前期	後期	合計単位数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語コミュニケーション (必修：2単位)</li> <li>・基礎英語A (選択：1単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語IA (選択：2単位)</li> </ul>	5単位
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語II B (選択：2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語演習 (必修：1単位)</li> <li>・アカデミックイングリッシュ (選択：2単位)</li> </ul>	5単位
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語III (選択：2単位)</li> <li>・ビジネスイングリッシュ (選択：2単位)</li> </ul>		4単位
		合計履修単位	14単位

## 履修モデル B (上級レベルモデル)

	前期	後期	合計単位数
1年生	・英語コミュニケーション (必修: 2単位) ・ESP I (留学) (選択: 2単位)	・ESP II (地域) (選択: 2単位) ・総合英語IA (選択: 2単位)	8単位
2年生	・総合英語II B (選択: 2単位)	・英語演習 (必修: 1単位) ・アカデミックイングリッシュ (選択: 2単位)	5単位
3年生	・総合英語III (選択: 2単位) ・ビジネスイングリッシュ (選択: 2単位)		4単位
集中講義 英語海外研修	・英語インテンシブA/B/C/D (2単位)または ・英語海外研修A/B (2単位)		2単位
	合計履修単位		19単位

## 修了要件

修了には以下の条件を満たす必要単位数**合計12単位以上**が必要です

- 必修科目「英語コミュニケーション」(2単位) + 「英語演習」(1単位)を含む
- 選択科目「総合英語III」(2単位)を含む
- 以下の選択科目の中から4単位以上を含む

「ESP I」(2単位) 「ESP II」(2単位)  
「アカデミックイングリッシュ」(2単位) 「ビジネスイングリッシュ」(2単位)  
「英語インテンシブA/B/C/D」(2単位) 「英語海外研修A/B」(2単位)

## 詳細・申し込み等

下記のURL (大学教育センターウェブサイト) をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/special/>



問い合わせ先

静岡キャンパス

教務課教務係 (共通教育A棟2階)

☎ 054-238-4259

浜松キャンパス

教務課共通教育係 (S-port 1階)

☎ 053-478-1006



## 概要と目的

グローバル・アジア特別教育プログラムは、幅広い視野と国際的な感覚を身につけることを目的に、アジアを中心とする「留学生とともに」学ぶ全学部横断的なプログラムです。グローバル化やアジア地域について理解を深める科目群を、国際経験豊かな教員から「英語で学ぶ」ことができます。

教養領域では約7科目の中から4科目8単位を取得、加えて、学際領域4単位、海外研修2単位、修了研究1単位、計15単位取得すると、修了証書が発行されます。

海外研修は、これまでインドネシア、タイ、ベトナムで実施されており、日本企業の海外拠点での研修やグローバル・リーダーからの講義等を受ける機会があります。

また、国内の最新のインターンシップ等の就職情報に触れることができます。

## 達成目標

- ・国際業務を行う上で必要なスキル・語学力を養うことができる。
- ・卒業後は、静岡県企業を始めとする日系企業のグローバル展開を推進したり、アジア諸国の拠点における生産・販売・営業に携わったり、さらにこれらを通して現地での社会貢献を行うなど、アジアを中心とする世界と日本の架け橋となることが期待されます。

## 履修資格と履修手続き

- TOEIC®L&R(入学1年前の4月1日以降に受検したもの)で550点以上を取得していることが必要です。
- 本プログラムを履修する際は、所定の申請書(別紙様式)に必要事項を記入し、TOEIC®L&RのOfficial Score Certification(公式認定書)の写しを添えて、次ページの申し込み/問い合わせ先に提出してください。

## 履修モデル1：静岡キャンパス

※は集中講義

履修年次	教養領域	学際領域	海外研修	修了研究	合計単位数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理学 (2単位)</li> <li>生活の科学 (2単位)</li> </ul>				(左の授業科目から) 計2単位
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>哲学 ※ (2単位)</li> <li>生物と環境 (2単位)</li> <li>国際社会と日本 (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Global Business Studies (2単位)</li> <li>ふじのくに学 (森林生態系からの恵み) ※ (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修 ※ (2単位)</li> </ul>		(左の授業科目から) 計8単位
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>法と社会 (2単位)</li> <li>生命科学 (2単位)</li> <li>現代の社会 ※ (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジアセミナー (2単位)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>修了研究 (1単位)</li> </ul>	(左の授業科目から) 計5単位

## 履修モデル2：浜松キャンパス

履修年次	教養領域	学際領域	海外研修	修了研究	合計単位数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の社会B (2単位)</li> <li>自然と物理 (2単位)</li> </ul>				(左の授業科目から) 計2単位
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>思想と芸術B ※ (2単位)</li> <li>生命科学 (2単位)</li> <li>現代の社会A ※ (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Global Business Studies (2単位)</li> <li>ふじのくに学 (森林生態系からの恵み) ※ (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修 ※ (2単位)</li> </ul>		(左の授業科目から) 計8単位
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済と経営A (2単位)</li> <li>生活の科学 (2単位)</li> <li>心理と行動A (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジアセミナー (2単位)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>修了研究 (1単位)</li> </ul>	(左の授業科目から) 計5単位

## 修了要件

- 定められた講義演習科目(海外研修科目、修了研究含む)の単位を計15単位以上修得すること。

## 履修の詳細

- 詳細は下記のウェブサイトを参照ください。
- <https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/abp-minor/>

履修していた先輩の体験談も掲載されています。



申し込み/  
問い合わせ先

国際交流課

✉ [global@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:global@adb.shizuoka.ac.jp)

静岡キャンパス (共通教育A棟4階)

浜松キャンパス (S-port 1階)

☎ 054-238-3065

☎ 053-478-1631



## 概要と目的

本プログラムは、履修学生がキャリア形成に関する科目を体系的に履修、学修することによって自律的キャリア形成に向けた知識を獲得し、大学4年間の学びをより意義深いものとすることを目指すプログラムです。

1. 大学での学びを自分自身のキャリア形成の中に位置付けて考えることで、履修学生が高い動機付けのもとに4年間学び続けること
2. 現代社会についての知識を獲得することによって、履修学生が自分自身のキャリア形成を社会との関係の中で捉えられるようになること

以上の2つを目的として設定しています。将来的には、自分自身のキャリア形成だけでなく、他者のキャリア形成に資する考えや視点、あるいは人々のキャリア形成にとってよりよい社会とはどのようなものかを考えられる知識を履修学生が持つことを展望しています。

## 達成目標

- ・ 大学4年間における学びを自分のキャリア形成の中に位置付けて考えることができる。
- ・ 現代社会の現状についての知識を持ち、それらを自分のキャリア形成と関係づけて捉えることができる。

## 履修資格と履修手続き

- 本学の静岡キャンパスに在籍する学生が履修できます。
- 本プログラムを履修する際は、申請が必要です。次ページに示した詳細ホームページを確認してください。履修申請が受理された時点より、プログラムの履修開始となります。



## 履修モデル

履修年次	講義・演習科目(必修)	インターンシップ(必修)	講義・演習科目(選択)	課外活動(必修)	合計単位数
1年生	・キャリアデザイン (1単位)				計1単位
2年生		・学部インターンシップ科目 (1単位)	・地域連携プロジェクト型 セミナー (2単位)		計3単位
3年生			・高齢社会を考える (2単位)	・就職ガイダンス (参加2回) ・小論文 ※	計2単位

※「自分自身のキャリア形成と所属学部における学びがどのように関わるか」を記載したレポートを提出

## 修了要件

- 指定された講義演習科目およびインターンシップ科目の**単位修得(計6単位以上)**と、**就職ガイダンスへの参加(2つ以上)**、**小論文課題の提出**が必要です。

## 詳細・申し込み等

下記のURL(大学教育センターウェブサイト)をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/special/>



問い合わせ先

静岡キャンパス

教務課教務係(共通教育A棟2階)

☎ 054-238-4259



## 概要と目的

地域づくり特別教育プログラムは、学生の所属学部や学科等における専門性の視点から、地域課題の解決に取り組む人材の育成を目的とします。

本プログラムでは、地域課題の理解や解決に関わる講義・実習科目等の学修をします。講義では、地域課題の解決に資する様々なアプローチを習得する専門科目群とともに、実践的な調査方法や組織論等を学びます。実習では、活動内容の異なる複数のフィールドワーク協力団体のもと、実際に展開している活動に自らを置くことで、計画力や自己管理能力、社会性など、実社会で必要な地域課題解決能力を修得していきます。

所定の単位の修得と修了申請によって、地域づくり特別教育プログラム修了証書が交付されます。

## 達成目標

- ・所属学部や学科等における専門性の視点から、地域課題の解決に取り組むことができる。

## 履修資格

- 本プログラムは、人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部に所属する2年次生以上の学生が履修することができます。
- 地域づくり特別教育プログラムの履修登録希望者は、年度ごとに行われるガイダンス(4月に開催予定)に参加してください。
- 教室の収容人数等の関係上、募集定員があります。

## 履修登録手続き

- 地域づくり特別教育プログラムの履修を希望する学生は【2022年4月30日(土)】までに学務情報システムから申込みを行ってください。
- 詳細は、人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部に所属する2年次生以上の学生にメールにて案内します。

## 履修モデル

区分	科目名	単位	形態	年次	開講学部	
選択 必修【1】	地域創造概論	2	講	2	全学教育科目	概論
	地域連携論	2	講	1～3	人文社会科学部	
	小計	2単位				
選択 必修【2】	社会調査入門など…				複数学部	調査法等
	小計	2単位				
選択 必修【3】	地域づくりフィールドワークなど…				全学教育科目、 人文社会科学部	学外実践
	小計	2単位				
選択	全学教育科目(教養科目)、学部専門科目				全学教育科目、 複数学部	専門性
	小計	8単位				
合 計		14単位				

## 修了要件

- 定められた選択必修科目および選択科目を計14単位以上履修して修得することを修了要件とする。

## プログラム詳細

<https://www.srd.shizuoka.ac.jp/sub-major/>



申し込み／  
問い合わせ先

地域連携推進課地域創造学環係

☎ 054-238-4311 (平日 9:00～17:00)

✉ ce.submajor@adb.shizuoka.ac.jp



## 概要と目的

静岡大学防災マイスター称号制度は、一定レベルの防災知識を備えた学生を養成して社会に送り出すために2011年度に立ち上げられました。このプログラムでは、静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な最低限の防災知識・スキルを獲得することを目標としています。

本プログラムは防災総合センターが中心となり、所定の科目を履修し授与を申請した学生に防災マイスター称号を与えるものであり、静岡・浜松両キャンパスで実施され、2020年度までに111名が「静岡大学防災マイスター」の称号を得ました。

## 達成目標

- ・ 静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な最低限の防災知識・スキルを獲得すること。
- ・ 教育学部にあっては、それを学校安全の推進に活用できる能力を獲得すること。

## 履修資格と履修手続き

- 特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。
- 本プログラムのガイダンスが4月と1月に開催されますので、取得を希望される方は参加してください。ガイダンスに出席できない方やご質問がある方は、大学会館1階防災総合センターへお問い合わせください。
- ガイダンスに参加のうえで、「静岡大学防災マイスター授与にかかる単位取得計画書」と申請者登録用紙を作成し、大学会館1階防災総合センターに提出ください。

## 履修モデル1:静岡キャンパス

履修年次	必修科目(4単位)	選択必修科目(4単位以上)	選択科目(4単位以上)	合計単位数
1年生			・実践からの防災行政論(2単位)	計2単位
2年生		・地震防災(2単位) ・地域社会と災害(2単位)	・社会資本マネジメント論(2単位)	計6単位
3年生	・学校におけるリスク管理(2単位) ・大規模自然災害の科学(2単位)			計4単位

## 履修モデル2:浜松キャンパス

履修年次	必修科目(4単位)	選択必修科目(4単位以上)	選択科目(4単位以上)	合計単位数
1年生			・統計学入門(2単位) ・社会調査論(2単位)	計4単位
2年生	・災害のリスクマネジメント(2単位)	・地域社会連携を考える(2単位) ・地震防災(2単位)		計6単位
3年生	・大規模自然災害の科学(2単位)			計2単位

## 修了要件

- 必修科目4単位・選択必修科目4単位以上・選択科目4単位以上の合計12単位以上の取得
- 修了レポートの提出と合格

※認定条件を満たしたのち、「静岡大学防災マイスター称号授与申請書」及び単位取得確認書類を提出してください。

※本プログラムの修了(称号取得)とともに、県の認定講座(例年2月中旬/半日程度)を受講することにより、静岡県知事認証「ふじのくに防災マイスター」の称号を得ることが出来ます。対象のほぼ全員が認証を得ています。

## プログラム詳細

[https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/#section\\_07](https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/#section_07)



問い合わせ先

静岡キャンパス

防災総合センター(大会会館1階)

浜松キャンパス

工学部教務係

☎ 053-478-1010

✉ bousai-hama@shizuoka.ac.jp

☎ 054-238-4502

✉ meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp

情報学部教務係

☎ 053-478-1510



## 概要と目的

グローバル化する世界で活躍するための基礎——国際的・相対的視点で見た日本の社会・文化・政治・経済に関する知識、および自身の専門分野に関する知識を英語で理解し発信する力——を身につけるためのプログラムです。

留学や仕事で外国に滞在すると、日本の様々な事柄について質問されて、いかに自分が日本のことを知らないか、また多少知っていてもそれを英語で表現するのがいかに難しいかを痛感します。このプログラムを通じて、そのような機会に的確に日本について英語で説明できるようになることを目指します。

具体的には英語で実施される科目を一定数取得し、最低三週間程度の海外留学を行います。最終的にTOEIC730点取得を目指しますが、英語で実施される授業には提携校の留学生も多く受講しているので、留学生と知り合うチャンスが増え、留学の準備にもなります。

## 達成目標

- ・日本の社会・文化・政治・経済について広く、また自分の専門分野について深く、英語で的確に表現できるようになること。
- ・短期間でも留学を行い、国際感覚を養って、外から客観的に日本を見る姿勢を身に付けること。
- ・大半の企業や官庁が「十分な英語力」の基準にしているTOEIC730点以上の取得を目指すことで、社会で活躍する足場を作り上げること。

## 履修資格

- 静岡大学全学部生(令和2年度以降に入学した者)が対象です。
- TOEIC550点以上を獲得していることが条件になります。

## 履修手続き

- 所定の申請書を人文社会科学部学務係へ提出します。  
※学務情報システムの「申請受付」でも申請可能です。

## 修了要件

- 18単位。TOEIC730点以上(もしくは他の外部英語試験の同等の資格)。

## 1. 選択必修科目

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考	
専門科目	学部共通 専門科目	Basic Lecture in Global Japan Studies I	2	1~3	4単位以上	TOEIC550点以上 取得者が履修できる。 基本的に英語を使用。	
		Basic Lecture in Global Japan Studies II	2	1~3			
		Basic Seminar in Global Japan Studies I	2	2~4			
		Basic Seminar in Global Japan Studies II	2	2~4			
		Seminar in Global Japan Studies I	2	3~4			
		Seminar in Global Japan Studies II	2	3~4			
			海外研修I	1	1~4	2単位以上	3ヶ月以上の海外の 教育機関での学習 をもってこの単位の 代替とすることが できる。この場合、選 択必修科目単位の 合計を4単位以上と する。
			海外研修II	1	1~4		
			海外研修III	2	1~4		
			海外研修IV	2	1~4		
			海外研修V	4	1~4		
			オンライン留学I	1	1~4		
教養科目	英語	英語海外研修A	2	1~4	6単位以上		
		英語海外研修B	2	1~4			
	学際科目	ABP海外研修I	2	2~4			
		ABP海外研修II	2	2~4			
		ABP海外研修III	2	2~4			
選択必修科目合計					6単位以上		

## 2. 英語で実施される授業科目

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考
専門 教養 科目	すべて	(科目一覧、 シラバス等で確認)	-	1~4	12単位以上	上記の選択必修科目を含め、在学中の全取得 単位のうち、基本的に英語で実施される授業 科目を、合計12単位以上になるよう履修。

## 3. TOEICもしくはそれに相当する外部英語試験点数

TOEIC	TOEFL(iBT)	IELTS	実用英語技能検定(英検)
730点以上	80以上	6.5以上	準一級以上

※以上の1~3の要件をすべて満たした者が「静岡大学特別教育プログラム修了証」を授与される。

※2の「英語で実施される授業科目」とは、講義で使用される言語が基本的に英語主体である科目を言い、単なる英語講義や英文文等は含まない。人文社会科学部専門科目別表に掲載されていない科目(他学部、他大学で取得して認定された単位を含む)であっても、シラバス等を提示することで認定を受けることができる。

※上記単位について、各学部学科等において卒業単位にならない場合でも、取得可能とする。

※グローバル・アジア特別教育プログラム(全学)との重複履修可。グローバル・アジア特別教育プログラム履修のためにカウントされる科目を含めても構わない。詳しくはグローバル・アジア特別教育プログラムの概要を参照のこと。

※人文社会科学部国際日本語センター委員会は、3ヶ月以上の海外の教育機関での学習をもってこの単位の代替とする申請があった場合、証明する書類等により審査する。



国立大学法人

**静岡大学**

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

**静岡大学全学教育基盤機構**